



## 共通テスト受けてきました！

2025.1.2 富士吉田市内で撮影

年賀状の価格が上がり「年賀状終い」に拍車がかかったことを、身をもって感じた今年のお正月。ある先生(定年退職後に非常勤講師として西高に勤務している先生)の年賀状の文面に新年早々心を打たれました。「西高で講師をさせていただきながら修行しなおせる光栄をかみしめております。」とのこと。私自身、西高の教壇に立てていることに改めて感謝しながら今年も頑張ろう！と誓いました。

さて、前回の年次だよりでもふれたとおり、今月18, 19日に行われた大学入学共通テストを受験してきました。私が現役生の時に受けたものも含め、センター試験・共通テストは今回で19回目の受験となりました。毎年独特の緊張感があって受験生の気持ちを忘れないためにも大事な取り組みかなあと考えています。今回は「数学ⅠA」「数学ⅡBC」「情報Ⅰ」の受験だったので、2日目午後からの参戦でした。山梨大学の敷地に入るやいなや、学生会館の前で昼食をとっていた西高3年生女子集団に迎えられました。やっぱり今年も他校(多分S台)の男子集団に挨拶され(大学職員と間違えられてますね)、何とか座席に着くと斜め前が西高生。周囲からの懐疑的な視線を感じつつも3科目の受験を終えました。

数ⅠA：72点/100点 三角比の問題でハマってペースを崩した。数学教員として恥ずかしい(´\_`)

数ⅡBC：97点/100点 解ききった瞬間「満点いけた！」と思ったけどケアレスミスで失点

情報Ⅰ：78点/100点 対策がほぼ出来ていなかったけど、数学寄りの出題に救われた！

数学ⅠAを解きながら「この問題を今の1年次生にどう指導していけば点数を取らせられるんだ?!」と1年生の顔を思い浮かべながらやったのは言い訳にもなりません、ひどい結果となってしまいました。もっと数学に誠実に向き合っていこうと思います。

今回初めて「情報Ⅰ」が共通テストに導入され、どんな試験になるのだろうと受験をしてみました。西高では2年次で「情報」の授業を履修し、3年次では授業がありません。今のところ共テ対策は各自の取り組みが中心となっているのが現実です。来年はもう少し対策をして共テに臨み、再来年(みんなが3年生)は情報の課外を私が担当するつもりで仕上げようと思っています。先生も頑張ります！  
1年次主任 平岩岳実

## 保護者の皆様へ

先日の三者懇談ではお忙しい中、また寒い中をご来校くださりありがとうございました。ご家庭での様子や普通の学校生活、来年度の履修科目を主な話題にさせていただき、有意義な時間を持つことができました。懇談でいただいたご意見は校内で情報共有し、今後の学校運営に生かしていきたいと思っています。

## ～2月行事予定～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	土		土曜講座	16	日		
2	日			17	月	A	きずなの日 第3回生活実態調査
3	月	A	きずなの日	18	火	A	
4	火	A		19	水	A	
5	水	A		20	木	A	
6	木	A		21	金	行事	第4回定期試験
7	金	A	時差登校 短縮50分授業	22	土		
8	土		鳳凰学ポスター発表会	23	日		天皇誕生日
9	日			24	月		振替休日
10	月	B		25	火	行事	第4回定期試験
11	火		建国記念の日	26	水	行事	第4回定期試験
12	水	B	生徒協議会	27	木	行事	第4回定期試験 大掃除
13	木	B		28	金	行事	表彰式 卒業式予行
14	金	B	第4回定期試験時間割発表	1	土	行事	第77回卒業証書授与式
15	土			2	日		

◎先生方からの寄稿 今月は4組の担任 松田光司先生、副担任 名取美和子先生です。

## 真理に近づくために

松田 光司

何かしらの動画を観ながら皿洗いをするのですが、日曜日は必ず「チ。」を観ています。地動説をテーマに、真理に迫ろうとする人々の信念が描かれるアニメです。漫画家の魚豊（うおと）さん原作で、2022年に完結しています。「チ。」を読むと、魚豊さんは TOK を学んでいたのではないかと思うぐらい、「エビデンス、確実性、真実、解釈、権力、正当化、ものの見方、文化、価値観、責任」といった TOK で扱う概念を考えさせられます。読者の地動説弾圧の勘違いを利用していたり、人の想いが繋がっていったりする点もとても面白い。



そんな「チ。」を読んで、天動説、地動説を調べていく中で、当時の天動説は完成度が高く、農業や航海などでの実用上の計算精度が高かったことを知りました。真理に近かったのは地動説ですが、天動説以上の精度を出すには、ケプラーの楕円軌道の発見まで待たねばなりません。伝統的に信じられていた「天体の運動は真円」から脱却するのは容易なことではなく、コペルニクスやガリレオでさえも楕円軌道には気づけなかった。ケプラーは、ティコ・ブラーエの正確な観測データに基づいて楕円軌道を発見したという話（「チ。」の中でもオマージュされている）ですが、きっと常識を疑い粘り強く考え続けられる人物だったのではないのでしょうか。このような定説を覆す発見は小学生に多いような気がします。今思いつく限りでも、カブトムシが昼にも活動することや、ヤマビルが木の上から落ちてこないこと、アリジゴクがおしっこすることなどがあります。これは、常識にとらわれない観察力の賜物ではないかと思っています。自然科学は多数決では決まらないし、年齢や肩書や知識量も関係ない。自然科学で大切なのはきっと、観察力と好奇心ではないかと思います。そういえば「宙わたる教室」というドラマでも「科学の前に人は平等」というセリフがありました。

ところで、2月8日（土）に鳳凰学のポスター発表が迫っていますね。製作状況はいかがでしょう？当日は、メンターの大学生や企業の方も来校予定です！真理に近づく一歩となる皆さんの研究を楽しみにしています！



## 読書のすすめ

名取 美和子

今、2年生のIB（バカロレア）の授業で遠藤周作著『海と毒薬』という本を読んでいます。有名な本なので、さらっと読んだことはあったのですが、作者の意図とテーマを踏まえながら表現を分析するうちに、作者の様々な仕掛けを発見して新しい見え方に繋がるのも面白いです。日々のタスクに埋もれていると、ふと自分の世界が狭まってしまっていて心身が硬くなってしまいうけれど、たまにじっくり本を読むと、少しだけ自分の内側に余裕ができるような気がします。つい集中して明け方になっちゃうことも時々ありますが…（反省）

さてさて、最近はどんな本がオススメなのかな？と授業内でリサーチしたり西高図書 NEWS でチェックしたりするのですが…あら、クラス別ランキング…トップが6冊!?…ん？ちょっと本読まなさすぎではないですか？今や SNS からの過剰な刺激もあり、わざわざ読書から刺激を受けなくても、と思うかもしれませんが、自分の嗜好に合った都合のいい情報ばかりに触れていると、想像力の育成が阻害されます。人も社会も、自分の予測範囲内だけには収まらないのですから。コミュニケーションの作法も時代によって変化し続けるけれど、普遍的な「伝える力」「受け止める力」は存在すると思うのです。より多くの練られた作品に触れながらそれを習得してほしいです。何より、君たち自身のためにね。1年生の今、ぜひ挑戦してみてください♪（ちなみに、7月には4組が100冊超えていたようです！図書館調べ）

